

平成20年度 個別の教育支援計画（作成例）

作成日：○年○月○日（新規・更新）記入者：比内養護学校 教諭 ○○ ○○

フリガナ 氏名	オオダテ タロウ 大館 太郎(男・女)	所属学校 学年・組	比内養護学校 中学部 ○年 ○組	
支援 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在及び将来の豊かな生活を目指した「ニーズ・願い」を明確にした上で、学部卒業段階（小学部は低学年、高学年）を見据えた支援目標を2～3に絞って記入する。 ・「～できるようにする。」「～したい。」と教師側の立場で記入する。 ・児童生徒の生活全般から支援目標を設定する。くらす・働く(活動する)・楽しむの観点を考慮する。 			
	本人・保護者のニーズ・願い	支援機関	具体的な支援内容	評価
家庭 生活	保護者： 本人：児童生徒の思いを汲み取って必ず記入 所見：	支援機関	○継続している支援、() に支援期間を明記する。 ◎新規の支援	※支援期間終了時 随時評価 又は1年後に評価
学校 生活	保護者： 本人： 所見：		○教育分野での支援内容 ・個別の指導計画の長期目標 ・学級担任の役割、寄宿舎担当の役割等 ・前教育機関の役割	
余暇・ 地域生活・ 福祉	保護者： 本人： 所見：		○福祉分野の支援内容 ・デイサービス、ショートステイ・ホームヘルパー、送迎サービス ○地域生活や交流、余暇に関する支援内容 ・子ども会、ボランティア、居住地校交流、習い事 ・買い物・食事・娯楽・宿泊・乗り物・公共施設の利用への支援	
医療・ 健康	保護者： 本人： 所見：		○医療的の支援内容 ・担当医との連携、訪問看護、ST、PT、OTとの連携 ○健康の保持・増進のための支援 ・摂食支援、肥満対策、偏食、運動量の確保	
前機 関・ 進路	保護者： 本人： 所見：		○卒業後の進路選択・進路決定に向けた支援内容 ・進路情報の提供 ・校内・現場実習 ・ハローワーク、企業、授産施設、小規模作業所との連携 ○前教育機関の支援内容	

上記の情報を支援関係機関に開示することに同意いたします。本計画書は（関係機関で保存し連絡を取り合える状態にする、破棄する）ことを望みます。平成20年 ○月 ○日 保護者氏名 ○○ ○○ 印
 ※ 本計画は、支援の方向性を示すものであって契約ではありません。